

平成 28 年 6 月 13 日

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション

海洋資源開発の EPCI 遂行会社 「EMAS CHIYODA Subsea」社への日本郵船の参画について

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市 代表取締役社長:澁谷 省吾、以下「千代田」と日本郵船株式会社(本社:千代田区 代表取締役社長:内藤 忠顕、以下「日本郵船」)、並びに Ezra Holdings Limited (本社:シンガポール、以下「Ezra 社」)の 3 社は、本年 3 月 31 日に千代田と EZRA 社が設立した海洋資源開発の設計・調達・建設・据付(EPCI)業務を遂行する「EMAS CHIYODA Subsea」(以下、「ECS 社」)へ日本郵船が参画し、新たに 3 社が協調して ECS 社を運営していくこととして、このたび基本合意に至りましたので、お知らせいたします。

ECS 社は、海洋資源開発工事専用の特殊船舶を運用し、メキシコ湾、アフリカ、アジア等グローバルに事業を展開しており、このたびの日本郵船の参画により、同社の持つ船舶のグローバルな運航などのノウハウを活用できる一方で、日本郵船も事業ポートフォリオを拡充させ、市況の変化に強い持続的成長に向けた効果が期待されています。

今後は、3 社が協調して ECS 社を運営する体制を構築することを目指し、日本郵船の参画手続きを本年 7 月末に完了させる予定です。

なお、同社の参画後の ECS 社の出資比率は以下のとおりとなります。

Ezra 社	40 %
千代田	35 %
日本郵船	25 %

四方を海に囲まれるわが国の領海内に豊富に埋蔵されている資源を有効活用すべく、政府も「海洋基本計画」の中で日本企業の海洋プラント分野への進出が急務と位置付けております。

日本郵船の参画により、日本のエンジニアリング会社としてはじめての海洋資源開発の EPCI へ参入した ECS 社の事業をさらに展開・発展させることで、日本独自のエネルギーセキュリティ確保に貢献できるよう挑戦してまいります。

以 上

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>